

## 新興出版社啓林館

### 本 社

〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号

### 東京支社

〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号

### 九州支社

〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階

### 東海支社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階

### 北海道支社

〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階

### 広島支社

〒732-0052 広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階

### グループ会社

#### 文研出版販売株式会社

### 本 社

東京都千代田区神田神保町1丁目48番1号 興生堂ビル3F

### 大阪事業所

大阪府大阪市天王寺区上本町5丁目2番11号 上六新興産ビル3F

### 加入団体

日本書籍出版協会／教科書協会／教科書著作権協会／教科書研究センター  
日本児童書出版協会／関西経済連合会／関西SDGsプラットフォーム  
学習参考書協会／学習教材協会／大阪出版協会

# 次世代を育む ひと、とき、みらい。

Developing the Next Generations


未来をつくるひとを、わたしたちは育んでいる。

## 新興出版社啓林館



# Developing the Next Generations

# 次世代を育む ひと、とき、みらい。

 未来をつくるひとを、わたしたちは育んでいる。

書くひと。調べるひと。デザインするひと。  
運ぶひと。広めるひと。伝えるひと。

私たちが手掛ける、学習や教育に関する事業は、  
そうした、いろいろな「ひと」の手をとおして、  
作り、つながり、広がり、伝わり、  
「未来のひと」をつくらうと取り組んできた歴史です。

教育のためだけの教材ではなく、  
学習のためだけの参考書でもない。  
その先にある、豊かな「人」を育て、  
今よりもっと快適な未来を生み出すもの。



教育というカタチで創出してきた  
私たちの誠実な思いを受け取った  
いまを生きる「ひと」が、  
「とき」を経て、  
もっと明るい「みらい」をつくる。

すべては、「ひと」から「ひと」へ。

その思いを胸に、私たちは、  
次の世代を育み、  
未来をつくる企業であり続けます。

INDEX

## 個性

P.03 座談会

“個性”あふれる社員が活躍する、社員座談会!



## 次代

P.05 部署紹介

“次代”をつくる、啓林館の「ひと」



## 育む

P.14 社員メッセージ

私たちが、未来の世代を育む想い

## 多彩な価値観を備えた、 新時代を切り拓く社員たち

坂 皆さんの、どうして入社しようと思ったんですか？  
安藤 私は、教育への関心はもちろんですが、社員の皆さんが明るくて親切だったんですよ。面接でもちゃんとお話を聞いていただけるといいますか？

寺内 私もそうです。面接でどんな考えや経験をしてきたかをたくさんお話しした記憶があります。ちゃんと中身を見ようとしてくださっているのが伝わりました。

多田 ええ、皆さんが言うように人間味をすごく感じたんです。ビジネスを超えた人に対する温かさが伝わったので絶対に入社したいと思いましたね。

寺内 当時、面接担当の坂常務から見て、私たちはどんな印象だったんですか？



坂 実を言うと、今後の時代を見通した時に従来とは違うスキルや個性を持った方に入社してもらった方が良いと思って、皆さんに内定を出したんです。別の言い方をすれば、今までの啓林館にはなかった個性豊かな人々を採用したいと思ったんです。

安藤 確かに、先輩の皆さんより、私たちの世代の方が個性の人が多いように思います(笑)。

## 手厚いサポートの中で、 経験を積み成長できる喜び

坂 入社時から皆さんの様子を見ていて、とても成長したように思います。どんなことが一番、自分の成長に役立ったと思いますか？



寺内 僕は、社歴に関係なく大きな仕事を任せてもらえることですね。

坂 寺内さんは、元参考書の編集でしたか？

寺内 はい。著者の方とのやりとりや、内容の検討まで自分一人に任せてもらったことで仕事のやり甲斐を感じて、「もっと成長したい」という気持ちにスイッチが入りました。

安藤 とてもわかります。私も、編集のほかに、商品の採算を細かく計算する業務を担当した時に、こんな大切な仕事を任せてもらえた喜びを感じました。

坂 責任ある仕事を任せる一方で、ちゃんとフォローもしてくれるんですよ？

安藤 そうなんです！わからないことが多い中で先輩に何でも質問したのですが、一度も嫌な顔をされたことがないので気持ちよく仕事ができました。

多田 それは私も感じますね。良い意味で先輩と後輩の垣根がないので、わからないことがあればすぐに相談できる環境が嬉しいですね。

寺内 それに、まだまだ経験が未熟な私たちの意見もちゃんと聞いて正当に評価してもらえらるのも働く意欲につながっています。それは、昔からのですか？

坂 ここ最近には特にそうだと思います。変化のスピードが早い時代ですから、若い人の意見はとても貴重だという認識があります。だから、頭ごなしに否定するようなことはないですね。

## 先人が築いた価値を磨き、 新しい価値へつないでいく

多田 歴史がある会社なので、手本となる先輩が多いのも魅力ですね？

安藤 はい。私と同じく出産と育児を経験しながら仕事を続けている先輩には憧れを持っています。時間が無い中で、優先順位をちゃんと見極めて時間内で仕事を完璧に終わらせてしまう姿は本当に勉強になります。

坂 どこが一番、すばらしいと思いますか？

安藤 仕事を効率良く進める工夫と、お子様の視点で商品を作ることができる、経験をちゃんと仕事に活かしているところですね。

坂 本当にそう思います。出産や育児でお休みをとることをハンデと思われる方もいますが、私たちに与っては経験が強みになるんですね。その期間も研修だと思っています。

安藤 その経験を私も仕事に取り入れて、先輩たちにきくと伝えることができればもっと女性社員にとっても働きやすい環境になるはずです。その期間も研修だと思っていますか？

寺内 寺内さんは、どんな先輩を手本にしているんですか？

多田 営業です。物事を上手く進める言葉を持つ先輩に憧れています。ちょっとした言葉のニュアンスや言い方を考え抜いて対応するだけで、お客様も気持ちよくこちらのご提案に賛同いただける。そのスキルをもっと磨きたいと思っています。

# Keirinkan Staff Talking

教育と向き合う、

## 個性豊かな社員たちが、

## 切り拓く未来。

2009年入社・  
教育推進部

多田 健司

小学校・中学校・高校の  
営業担当

1988年入社・  
常務取締役

坂 宏

人事・労務・採用・財務等  
管理部門の責任者

2010年入社・  
編集部

安藤 侑未

書店用教科書・  
参考書の編集担当

2012年入社・  
事業企画部

寺内 章崇

学校用教科書・  
教材等の企画担当

## 従来の枠にとらわれない 発想とチーム力で歩みを進める

寺内 新しいプロジェクトと言えば新規事業提案でしょうか？  
多田 教科書や参考書といったこれまでの商品にとらわれずに、全く新たな事業を提案するプロジェクトですね。部署を越えて、寺内さんのほか数名とチームを組んで事業を提案しました。

安藤 結果はどうでした？  
多田 残念ながら採用されませんでした(笑)。

坂 このプロジェクトには1000ぐらいの提案が集まったので仕方ないですよ。

安藤 1000提案も集まったのですか？  
坂 まことに嬉しいことに、それだけの社員の方が新規事業に取り組みたいとがんばってくれたんです。今は、その中から厳選した提案を数件、実現に向けて動かしているところです。

寺内 結果は爽りませんが、このプロジェクトに取り組んでみてわかったのが、部署が違うだけでも色々な発想に触れられることです。

坂 確かに、別々の部署の社員同士が連携したチームでは驚くようなアイデアの提案がありました。

安藤 現実的には難しいですが、普段の業務でもそうした部署を超えた連携がもっと活発になればもっと新たな価値を生み出せるかもしれませんね。

坂 そう思います。ただ、私たち管理する立場としては、柔軟な発想力で前進していく力と同時に、誠実に教育と向き合い堅実に仕事を進める力も大切になりたいという思いです。その両輪が共に成長していくことが、次の時代を切り拓くキーワードかもしれませんね。

## 子どもたちの未来も動かす 仕事である誇りを胸に

坂 仕事である以上、大変な時も当然あるかと思いますが、その中で、何をやり甲斐にして前向きに頑張っているのですか？  
寺内 普段の業務の中で、懸命に働いた成果を評価されることや、お客様から喜びの声をいただくことも大きなやり甲斐です。その中で特に嬉しいのが、ちゃんと私たちが手掛けた教材や参考書が、子どもたちの役に立ったと知った瞬間です。

坂 例えば、どういうことですか？  
寺内 私たちが作った参考書を使い、無事に志望校に合格したという学生さんからお手紙をいただいたことがあるのですが、その時は心から嬉しかったです。今も心の支えになっています。

安藤 そうですよ。私たちの仕事が少ない子どもたちの未来を良くできたと思えることが何よりの喜びです。育児をするようになってから、その思いはより強くなりました。

多田 私も、知人のお子様が始林館の教材を通して数学への興味を深めて、大学進学を果たされたという話を聞き、自分の仕事に誇りを感じられました。

坂 その思いは大切だと思います。それだけ責任ある仕事をしているという自覚。ちゃんとその責任を果たして結果を得られる誇り。その2つを胸に抱えることが、仕事に取り組む意欲や質に関係してくると思います。

寺内 何年か何十年か先に私たちの仕事は息づくはずだという期待を持てるのが、この仕事の面白さのような気がします。

## 新興出版社啓林館の次なる歴史を築き 未来とつながる新たな息吹

安藤 最近は海外での活動も増えていますね？  
坂 教育は内需産業だと思っていたのですが、海外にも可能性があると感じています。さらなる発展を期待される国にはパワーがあるので、質の高い教育をどんどん求められています。また、国際交流を通して新しい発見も多々あります。

寺内 文化の違いから学ぶということですか？  
坂 そうですね。例えば、とある国で英作文を添削する取り組みを行っていたのですが、その国は信仰上の理由で働けない期間があります。

安藤 仕事がストップするので困りますよね？  
坂 そう思ったのですが、国内の学校は「これこそが国際交流だ」と受け入れたんです。その文化の違いを子どもたちに伝えることも教育の一つだと。

多田 確かに、普段の教材からは得られない経験ですね。

坂 そうした新しい視点を持つ人が、今後の啓林館に必要なと思いませんか？  
安藤 思います。私も、今のデジタルネイティブの世代が入社すると、SNSやデジタル教材などを活用する驚くようなアイデアが出てくると思います。

寺内 私たちは経験も知識も違う、その力を活かして新興出版社啓林館と未来をつなげてほしいですね。



坂 皆さんの世代が今の当社を作ってくれたように、新しい世代と一緒に次の時代でも輝く新興出版社啓林館を作ってほしいと強く思っています。今日は良い話をたくさん聞けて良かったです。ありがとうございました！



本社  
コンテンツクリエイション事業部



## 小野 綾子

学生時代に学んだ理系の知識を活かせる仕事に就きたいと思い、入社。高校理科の編集を経験した後に、2017年から現在の部署へ。編集や営業で経験を重ねたベテランの先輩社員が多い中、「年齢差を感じさせない自由なコミュニケーションがとれるのでとても働きやすい」という小野さん。休日は、友人たちを連れ立って食事や旅行に出かけるのが趣味。また、会社の同僚や先輩たちとの食事会も頻繁に行い気分をリフレッシュさせることが、仕事に前向きに取り組む秘訣だとか。

## コンテンツクリエイション事業部



### 急速に変化していく時代の歩調に合わせて 未来を見据えた新しい教育の形を捉える。

編集部が手掛ける教科書などをベースにデジタル教材を制作する第1課と、海外事業などを展開する第2課があるのがコンテンツクリエイション事業部です。その中で、私は第1課に所属しアニメーションでイラストを動かす仕掛けや、英語の発音を知るための音読ツールなど、先生にとっては教えやすく、子どもたちにとっては集中力を途切れさせないという視点で制作に取り組んでいます。

特にこの部署では、他部署との連携が重要です。動きや音を付けるにしても、内容を深く理解し現場のニーズを把握しなければ要点を押さえられず、デジタル教材に求められる子どもたちの学ぶ意欲を高められません。そのため、編集チームや営業チームと入念に検討を重ね、その後初めてデジタル化のアイデアを創出していきます。

その中で私たちが制作で大切にしているのが、未来の教育の形を想像することです。デジタルに慣れ親しんだ子どもたちにとってどんな表現が伝わりやすく、楽しく学ぶことができるのか。今の子どもたちにおいても、直感的に操作ができたり思わぬところに関心を持ち勉強に

励むようになったりと、数多くの発見があります。その発見を着実に重ね、10年先20年先の子どもたちに届くようなデジタル教材を作ることが大きな目標です。今後はもっとニーズが高まっていく部署なので、新たな視点を持つ若い世代と共にさらに飛躍していきたいと思っています。



#### — One day schedule —



東京支社  
書籍販売部



## 尾上 智基

業界を問わず就職活動をしていたところ、面接で社員の温かい対応に心を惹かれ入社。一貫して東日本エリアの書店向け営業部に所属し、北海道や群馬などに出張で奔走する日々を送る。「当初は、毎週のように出張に出かける大変さを感じることもありましたが、今ではお客様との関係も深まり、他愛もない話をするのが楽しくて、すっかりこの仕事が好きになりました」と話す尾上さん。趣味は、一眼レフカメラを持ち、都内の観光地などをまわり風景を撮ること。ゴルフも好きで休日は練習に励む日も多いとか。

## 書籍販売部

(書店営業)



### 地域性や書店ごとに異なる個性を理解し 求める教材が子どもたちに届くように。

北海道から静岡まで、東日本にある各書店様に対し、学習教材のご提案から、商品の陳列、欠本の補充、販売促進の企画まで担当するのが私たちの仕事です。

1人でおよそ300~400書店を担当するのですが、全て同じ対応ではお客様に満足いただけないと思っています。店舗の構造によって違うお客様の動線や、地域によって力を入れている教科、その他、独立した店舗なのか商業施設内の店舗なのかによっても対応方法は異なります。そうした違いを読み解き、ある商品を棚の陳列から平積みでの販売に変えたことがあります。書店担当者の方に交渉して、この提案がお客様にうまく響き、売上が1.5倍ほど伸びたという経験もありました。

こうしたご提案を実現するためには、書店様との信頼関係が大切だと考えています。こまめに書店へ足を運び、書店様のご要望に耳を傾け、補充や整理をきちんと行う。その心掛けから私たちがの絆が生まれ、新規の販促提案なども信頼して受け入れていただけていると思っています。

私たちがこれだけ仕事に情熱を捧げられるのは、編集チームが懸命に作った商品の価値をしっかりと広め、子どもたちの手にちゃんと届けたいという思いがあるからです。子どもたちの未来をより良く変える誇りある仕事に共感する方々と一緒に、これからも当社の魅力を全国へ広げていきたいと思っています。



#### — One day schedule —





本社  
編集部



## 岸岡 広幸

もともと好きだった算数や数学の面白さを伝えられる職業を希望し、入社。小学校と中学校の算数・数学の教科書を制作する編集部に所属し、「少しでもこの教科を好きになってもらえるような一冊に仕上げたい」を目標に仕事に邁進する。ストイックに教科書制作へ取り組む一方で、岸岡さんは「休みの日は子どもと遊ぶのが何よりの楽しみで、気持ちをリラックスさせることも大切にしています」と語る。ほかに、趣味も兼ねて、本の装丁や造りを勉強するため頻繁に書店や古本屋に出掛けるという。

## 編集部

(学校関連)



教科への興味を喚起させるために、  
時代の流れや幅広い知見を誌面に盛り込む。

算数・数学の教材を制作する編集部には、小学校・中学校用の課と、高校用の課、書店用の問題集を制作する課があります。私は主に算数の教科書編集を担当しています。

教科書の改訂は4年に1度。そのため、約2年半～3年の長い期間をかけて、企画を練り、原稿を執筆し、デザインを決め、写真などの素材を集めながら、じっくりと教科書制作を進めていくのが特徴です。

その長い制作期間の中で、私たち編集部は“どのような内容にすれば子どもたちに興味を持ってもらえるか”を念頭に置き、制作に取り組んでいます。単純に、情報が更新される箇所を正確に修正するだけでなく、時代の流れや子どもたちの心境の変化など、もっと幅広い視点から中身を検討していきます。例えば、近年の制作物であれば2020年の東京オリンピックに関する話題や、ノーベル賞を受賞した日本人の情報などを盛り込むこともあります。

同時に、退屈しない誌面づくりを行えるように、編集部全員での学びの機会も欠かせません。美術展や博物館などに足を運び、なにがよい写真でどんな説明の仕方をすれば興味をそそられるのか。一見、教科書づくりとは無関係に思えることでも、知見を広めるために社員で取り組んでいます。

全ては、教科書を通して子どもたちにどんな可能性を届けられるか。そのメッセージを誌面に盛り込み、子どもたちの未来が広がっていくような教科書を作り続けていきます。



### — One day schedule —



本社  
編集部



## 宮成 亜紗子

大学時代に哲学を専攻した経験から、物事をじっくりと考える面白さに気付き、それを活かせる仕事として出版業界を目指す。色々な出版社を受ける中で、働く人の優しい対応などが印象に残り入社。社会科の学習参考書を編集する課に配属される。仕事では気持ちの切り替えを大切に、プライベートな時間を充実させるのが目標。今のお気に入りの過ごし方は「仕事が早く終わった日は、蕎麦屋さんでゆったり食事をして、映画館で好きな作品を見て、自宅のお風呂でゆっくり疲れをとることで」という。

## 編集部

(書店関連)



気持ちよく働ける環境を整えることが、  
滞りない、質の高い仕事につながっていく。

国語、英語、社会等の教材を制作する部で、小中高校用教科書・教材等を制作する課と、書店用の学習参考書を制作する課に分かれています。

私が所属する課と、他の課の大きな違いは発行点数です。私の課では、多ければ1年で1教科30冊近くの編集を行います。そのため、内容の正確さを高め、滞りなく作業を進められるようデザイナーや執筆者など、制作に関わる方々が気持ちよく仕事ができる環境を整えることに努めています。

何か作業してもらったらすぐにお礼の返事をする。原稿やデザインなどを仕上げてもらえば、良いところをしっかりとお伝えする。関西圏以外の協力会社様もいらっしゃる中で、時には現地までお伺いしてご挨拶をすることもあります。そうした些細な気配りを重ねることで、人と人との絆が生まれ、仕事への意欲が高まっていくと思います。

私自身、その経験からこの仕事の魅力に気がきました。周囲の方々は、入社間もない頃から新人の意見にも耳をかたむけてくださり、良いと思った提案は採用して仕事に反映してくれました。それがやり甲斐になり、もっと良い仕事がしたいと強く思ったことを今でも覚えています。



社内に限らず、社外の人ともうまくコミュニケーションをとる先輩たちが多く職場なので、新入社員の方にとってはとても働きやすい環境だと思います。ぜひその環境で、一緒になって考え、モノづくりに突き進む新しい人と出会いたいと思っています。

### — One day schedule —





九州支社  
教育推進部



## 今村 勇介

書店でのアルバイトがきっかけとなり出版業界への関心が湧いたという今村さん。啓林館での面接で、初めて学校営業という仕事があることを知り、教育を子どもたちに広げていくこの仕事の醍醐味に触れ、入社。今では、学校の先生とも打ち解け、仕事以外の他愛のない話で盛り上がることも度々とか。料理とお酒を飲むのが趣味。休日は、自慢の料理で友人たちをおもてなしする食事を開くことも多いそう。今、最近ハマっている料理はさつと茹でた鶏肝をごま油と塩でいただく一品とか。

## 教育推進部

(学校営業)



### 教育現場のニーズや声を社内に届け、啓林館が未来へ進む架け橋となる仕事を

九州エリアの小中高校に向けて、啓林館の教科書の魅力を広める業務を行うのが教育推進部です。

私たちの業務で求められるのは、教科書の魅力を広めると同時に、教育現場のニーズや先生の声を社内へフィードバックすることです。市町村や学校ごとに教育に対する考えは千差万別。当然、先生によっても重要視されるポイントが異なるため、その違いも把握しなければいけません。

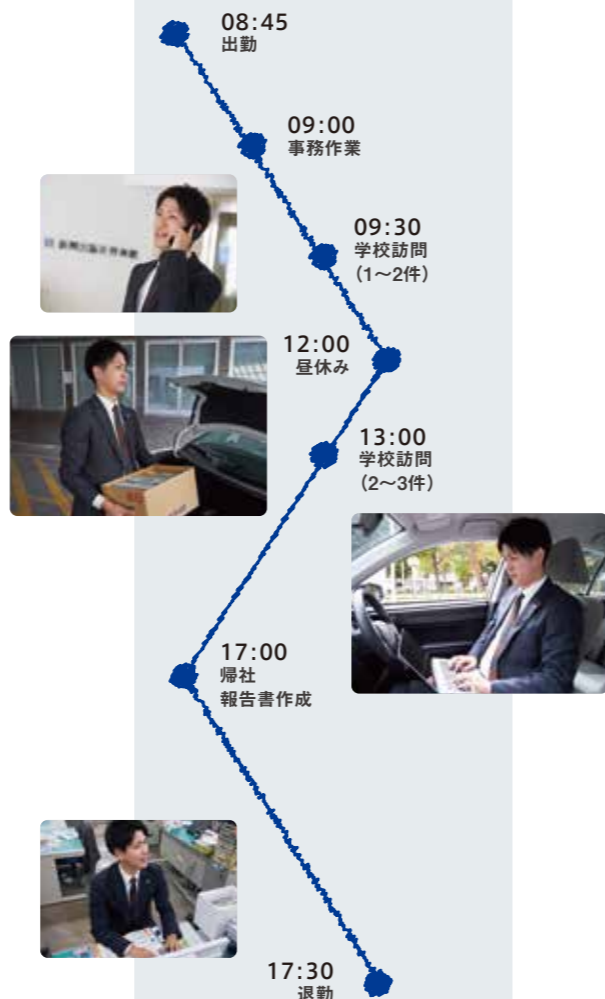
そのため、先生の言葉にしっかりと耳を傾け、指導をする際にどの部分に課題を感じ、どこを改訂すれば良いかを正確に理解をする。私が聞き取りした内容が、今後の教科書作りの基点となり、啓林館が手掛ける商品の評価にもつながるという自覚と責任を感じながら、仕事に向かっています。

その中で、部署全体で重要視しているのが、先生との信頼関係です。地域や学校の違いを知り、啓林館の教科書の中身について熟知すること。それを心掛けると先生との距離も格段に近くになり、より具体的な教育現場の声を社内へ届けることができていると思っています。



私たちが社内に届けた教育現場の声によって、教科書がますます良いものとなり、子どもたちの将来がもっと明るく変わっていく。そのように、啓林館が未来へと歩みを進める架け橋となるような仕事を手掛けていくことが今後の大きな目標です。

### — One day schedule —



## 新興出版社啓林館×次世代

### プロジェクトT-omorrow (ティーオモロー)

社員の自由な発想で新規事業や業務改善を提案する「明日をおもしろくするプロジェクト」Project T-omorrowを実施しています。年齢や部署の垣根を飛び越えてチームを立ち上げ、未来の事業を提案します。優秀案は全社表彰式で表彰されることも…



### 地域学習貢献

子どもたちに“体験”を通して「学習が社会にどのように役立つのか」を伝えたい。その想いを「わくわく学習教室」を開催し、伝えています。夕方になると子どもたちの楽しそうな声が社内に広がっています。大型のイベントとして「わくわく夏まつり」や「サイエンスカフェ」なども全社をあげて取り組んでいます。



### SDGsへの取り組み

社内で2019年にSDGs(持続可能な開発目標)プロジェクトチームを発足しました。当社の教科書・教材、JICA独立行政法人国際協力機構事業「スマートレクチャー」、また「わくわく学習教室」や「海外への取り組み」などを通して、さまざまな課題に取り組んでいます。



## グローバル教育事業

### 新興出版社啓林館



Bangladesh



Kenya



Nepal



Philippines



Nepal



JICA  
独立行政法人国際協力機構



Philippines



South Africa

### オンライン英語動画・添削サービス「スマートレクチャーコレクション」

啓林館オンライン英語動画・添削サービス「スマートレクチャーコレクション」の添削体制を Bangladesh、Kenya、Nepal 在住の外国人講師と連携をとり整えています。CEFR C1(英検1級相当以上の英語力)を有した講師からの質の高い英語指導を提供しています。

### スマートレクチャーコレクション



### 啓林館イングリッシュセンターを設立

2019年にフィリピンカミンギン州、2020年ネパールのカトマンズ市に「啓林館イングリッシュセンター」を設立しました。



### 啓林館が JICA 普及実証事業に採択

2018年フィリピン国において当社が JICA 「『スマートレクチャー』を用いた数学力向上に関する普及実証」に採択されました。2020年南アフリカ国において当社が JICA 「『日本式算数に基づいたe-learning教材』を用いた算数学力向上に関する案件化調査」に採択されました。



## 新規事業

時代のニーズに合わせてさまざまなコンテンツを用いて新しい教育のカたちを提供しています。



# 未来をつくる、つたえる、ひろげる、人びと。

新興出版社啓林館の教育事業の中で、創業以来、大切にしてきたのが教科書の出版。子どもたちの教育のため、もっと豊かな未来を描いてもらうため、どれだけ多くの人々が関わり、どんな思いを持って作っているのか。1冊の本をつくっていく模様をレポートします。

## 教育現場の「未来」をしっかりと見据え、専門的な知見を結集させる編集会議へ。



新興出版社啓林館がつくる教科書は、教育現場の市場を入念に調査するところから始まる。学校は何を求め、どのような内容の

教科書であれば、子どもたちは楽しみながら学びを深められるのか。社内で組織した研究会が中心となり、先生方へのアンケート結果や、営業担当が学校で得た意見を交えて検討していく。

「この作業で大切なのは、子どもの目線で考えること。ときには、人気のゲームソフトや流行もチェックし、それが良いヒントにな



り教科書づくりに活かされることもありますよ」と、語るのは研究会の岸岡さん。

研究会の調査内容に基づき、教科書の方向性が決まったところで編集会議へ。大学や学校の先生といった外部の専門家を集め、指導要綱の解釈、編集方針、執筆の分担が決定されていく。

「ときには、1冊の教科書に関わる執筆者が40名以上になることもあります。私たち編集者の役割は、進行状況をにらみつつ、表現方法をそろえ全体のトーンを統一させていきます。執筆者との綿密なコミュニケーションが重要ですね」と、編集会議担当の伊藤さんは言う。

また、制作した教科書が実際に使われるのは3~4年先のこと。文科省の検定を横目に、そう遠くない未来の教育現場を想像するチカラも編集者には必要だという。



## 興味を喚起させる内容へと研ぎ澄まし、確かな一冊へと仕上げる最終段階に。



学びをさらに深める大切な要素である、デザインやレイアウト。子どもたちの興味を

本文、デザインやレイアウト作業が終われば、編集作業も佳境を迎える。誤字脱字はもとより、内容の正確性も加味して、何度も繰り返し原稿をチェック。最後に「責了」の文字を書き入れれば、印刷所から届く見本を待つばかり。文部科学省の検定を受け、修正・訂正を経て、採択を得れば教科書



ひき、教える側にとっても使いやすい内容を考慮し紙面を形作っていく作業だ。外部のカメラマンやデザイナー、イラストレーターと協力し、表現方法などを検討していく。「面白い題材を探すようにしています。やっぱり、ちょっとした例題でも、内容が面白い方が読む気にもなると思うんです。題材を探して取材に出かけることもあります」と、嬉々として語るのは、高校英語担当の土田さんだ。

として子どもたちのもとへ届けられる。

## 教育現場の生の声を集めながら、教科書の魅力をひろげていく。



教科書づくりに関わる重要な情報を日々、学校や地方紙、子どもたちが関心を持つものなどから取得していく営業担当者たち。教科書ができあがったあとは、学校の



訪問し、教科書をPRし、その魅力を広げる業務を行う。

「新しい教科書のPRを行うのは、同時に啓林館ブランドをもっと深く知っていただくためです。地道に1校ずつ訪問し、1つでも多くの学校で私たちの教科書が採択されることが大きな目標です」という営業担当の田中さん。月に1~2回、開かれる営業会議で、教科書のセールスポイントや営業方針を決め、エリアごとの情勢、先生方からの意見などを交換する。

このように、教科書づくりに必要な情報を整理し、同時に教科書のPRも行う。大変な仕事かと思うが、営業担当者たちは、みな生き生きと仕事に向き合っている。それは、営業担当だけに限らず、どの作業に関わる社員たちにも共通していたこと。おそらく、将来を担っていく子どもたちの未来をつくる大切な仕事だという思いがあるからだろう。

とある営業担当者は言う。「教室で楽しそうな笑顔で、教科書を見つめる子どもの姿を見るのが一番の励みなんです」。その輝くような笑顔がきっと、明るく照らす未来を築くことにつながると、新興出版社啓林館の社員たちは強く信じているのではないだろうか。



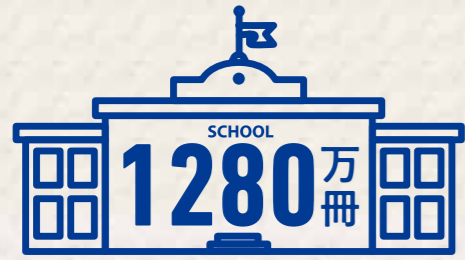
動画はこちら



# 数字でみる新興出版社啓林館

## 1946年から75周年を迎えます。

出版社の中では特に老舗の会社となります。



啓林館で1年に発刊する教科書の冊数。  
小学校、中学校、高等学校の教育を根底から支えています。



書店販売の教材の数は実に490点。ぜひ書店に行って  
「新興出版社」のロゴを探してみてください。



新興出版社啓林館公認クラブの数です。年齢や部署の  
垣根を越えてわいわいとリフレッシュしています。



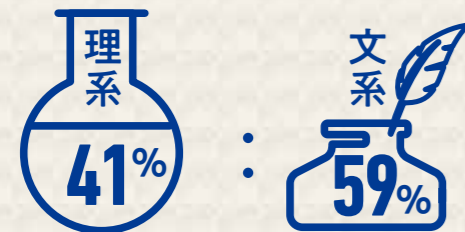
教科書発行者番号 教科書会社の歴史の中で61番目に  
教科書を発行した啓林館。この番号は永久番号です。



女性の産前産後休業・育児休業取得率は管理職  
も含め100%を達成しています。復職後も育児時  
短勤務制度や子の看護休暇など子育てに関する  
制度は充実しています。男性社員の取得も増えて  
います。



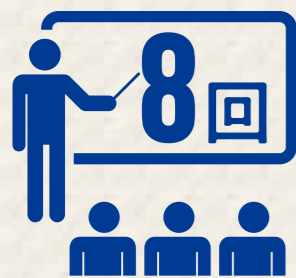
直近10年の先輩社員の男女比。  
男女比はほぼ半々の割合です。



直近10年の先輩社員の文系・理系比率  
文理問わず活躍できるフィールドが当社にはあります。



当社の平均年齢。  
若手からベテランまで意見をしっかりと言い合える環境です。



内定者研修3回、人事入  
社導入研修(2ヵ月)、2年  
目、4年目、6・7年目、9・  
10年目研修と人事で  
行っている研修は8回。  
その他e-learning研修や  
個人カスタマイズ型会員  
制研修など研修に力を  
入れています。



当社の新卒入社社員の比率はなんと100%!  
長い目で育てていこうという環境が整っています。

仕事も遊びも全力投球したい  
という方に“ぴったり”な会社です。  
教育は可能性に満ちている。  
あなたの元気と笑顔を  
ぜひ弊社「ONE TEAM」に  
注入してください!

書籍販売担当 中井 洋



## 育む

### より良い未来を育むため、 次世代に届けたい私たちの思い。

私たちが目指すものは教育事業を通して、  
子どもたちも、社会も、未来も、今よりもっと輝かせること。  
社員たちのメッセージには、そんな思いが溢れています。

自分たちの商品を、子どもたちが  
実際に使っている瞬間を見ると、  
本当に感動します。  
子どもたちにも、先生にも、  
もっとわかりやすく、  
もっと楽しいものを届けたい。  
良いものを作りましょう。  
コンテンツクリエイション 松下 卓幹

「教科書」は子ども達と先生を“繋ぐ”  
教材です。その教材を届ける為、  
現場の“生”の声を聴きに日々活動  
しています。自分が聴いた言葉が実際  
に教科書に掲載され、子ども達の手元  
に届く満足感他では味わえません。  
一緒に体感しましょう。来年の春  
出会えることを楽しみにしています。

教育推進担当 岸田 祐輔

子どものときの気持ちを  
思い出しながら、真剣に教科書・  
書籍作りに取り組む。  
ずっと胸にあるのは「学ぶことの  
面白さを形にして伝えたい!」  
そんな人たちが  
たくさんいる会社です。

算数・数学編集担当 増田 愛

毎日の学校訪問で先生方と  
お話する度に「教育って奥深いな」  
と感じています。  
教室で真剣に教科書を見つめる  
子どもたちを見て、「この子たちの  
未来を支え続けたい!」って  
いつも思っています。

教育推進担当 伊藤 結佳

歴史ある当社の編集者として  
教科書制作に携わる。  
それは伝統を引き継ぎながらも  
現代の子どもたちや先生方に、  
より喜んでもらえる教科書に刷新  
していく仕事です。あなたの専門性  
を活かせる場でもあります。

算数・数学編集担当 杉山 憲司

いろいろな人と出会い、  
アイデアをもちより、  
それを形にしていく仕事です。  
子どもたちに届いた風景を見たとき  
は感動ひとしお。  
そんな仕事を一緒にしませんか?

理科編集担当 山田 梨紗都



# 新興出版社啓林館

新興出版社啓林館は、教科書の「啓林館」、書店用学習参考書の「新興出版社」、児童書の「文研出版」という3つのブランドで、幼児から高校生までをカバーする幅広い教材を提供しています。

**学校用**

- 啓林館
  - 教科書
  - 問題集
  - 参考書
  - デジタル教材

**書店用**

- 新興出版社
  - 教科書準拠問題集
  - 教材
  - 問題集

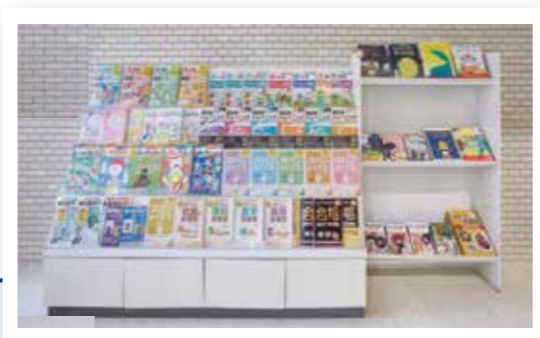
**文研出版**

- 児童書



## 一沿革一

- 1946年 任意組合新興出版社を創業。最初の出版物として小学校用自習書「国語の学習」「算数の学習」を発行。
- 1948年 「学生年鑑」「新興の大全科」が好評を博し、全国に新興出版社の名を広める。
- 1949年 株式会社新興出版社に改組。
- 1950年 文部省図書監修官の塩野直道が検定教科書の発行計画に参画、著者として執筆編集に従事する。
- 1951年 啓林館名にて小学校用教科書「理科」「算数」を発行。東京支社を開設。
- 1953年 中学校用教科書「理科」「数学」を発行。
- 1954年 高等学校用教科書「理科」「数学」を発行、教科書界において「理数系の啓林館」を確立。
- 1956年 平野支社および九州支社を開設。
- 1959年 「テストブック」278点を発行、マスプロ、マースールの時代を迎える。自習書発行点数835点となる。テレビコマーシャルを開始。
- 1960年 名古屋出張所を開設。
- 1961年 株式会社新興出版社啓林館に商号を変更。
- 1962年 中学校用「ハイテスト」133点を発行。
- 1964年 文研出版ブランドで「グリッブ」「アタック」シリーズを発行、学習参考書界に新風をおくる。札幌出張所を開設。
- 1967年 本社新社屋ビル完成。
- 1968年 児童用図書、実用書の発行を開始。
- 1969年 コンピュータを導入。広島出張所を開設。
- 1972年 視聴覚教材(カセット、ビデオ)を発刊。
- 1973年 第19回青少年読書感想文全国コンクール課題図書に「はなれざるドト」が初めて選定される。以後、幾度も選定されている。
- 1977年 「もこもこ」(新生児・乳児用 ブックススタート選定)発行。
- 1981年 「キャベツくん」が第4回日本の絵本賞(絵本にっぽん大賞)を受賞。
- 1982年 高校学習参考書「フォーカス・問題集」(シャイロ)を啓林館ブランドで発行。
- 1984年 以後「フォーカスワールド」を中心に多数の学校に採用される。
- 1986年 中学校用「教科書トレーニング」を新興出版社ブランドで発行。
- 1988年 小学校用「教科書びつたりテスト」を新興出版社ブランドで発行。
- 1990年 高等学校用教科書「英語」を啓林館ブランドで発行。塾市場に本格的に参入。
- 1992年 ニーメディア商品の開発に着手。
- 1994年 小学校用教科書「生活科」を啓林館ブランドで発行。作文添削教材システム(ザ・作文教室)を創刊。
- 1996年 会社創立50周年。グループ会社文研出版販売 設立
- 2003年 高等学校用教科書「情報」発行。
- 2005年 小学生用「教科書ドリルの王様」を新興出版社ブランドで発行。指導者用 デジタル教科書を発行。
- 2011年 東京支社にICT (Information and Communication Technology) ルーム開設。
- 2013年 大阪本社に「わくわく学習教室」完成。
- 2016年 高等学校用英語表現教科書「Vision Quest」発行。会社創立70周年。
- 2017年 幼児用ドリル「おうちレッスン」を新興出版社ブランドで発行。
- 2018年 JICA「スマートレクチャー」を用いた。数学力向上に関する普及実証」に採択。
- 2020年 SDGsプロジェクトチーム発足。小学校用教科書「英語」を発行。文部科学省「令和元年度青少年の体験活動推進企業」として表彰を受ける。



学びを、ずっと。



一歩ずつ未来へ。

さあ、どんな未来にしよう。

子どもだって、大人だって、

年齢にとらわれずに、

新しい発見とドキドキと、

成長を続けられること。

新興出版社啓林館は

その思いを大切に、

学びをずっと、いつまでも、

その楽しさを育む教育を。

みんなと一緒に進んでいこう。

一歩ずつ未来へ。

